

障害のある方や外出が困難な方のサポート強化を ひとに優しいまちを目指して



かすみがうら市議会議員
みやじま謙活動報告

移動困難者の支援は「住み続けられるまち」の証

現在かすみがうら市では、障害のある方の使用する軽自動車税の減免について、所有者または運転者が障害のある方本人でなければ対象になってしまいます。

軽自動車税の減免

「住み続けられるまち」の証（あかし）であると思うのです。

去る12月1日、令和3年第4回定例議会の一般質問において、障害のある方の移動に使用する軽自動車の税減免と、外出困難者に対する投票サポートの強化を提案しました。

身に障害がある方の場合は、私たちの基本的人権は憲法で保障されていますが、それが実現されていれば、自治体によって様々なです。サポートの必要な方に優しくまちづくりに取り組む自治体の姿勢は、市民にとっても

また、その障害ゆえに、ご自身で運転できない可能性も高いと思われます。こうしたことを考えれば、現状の制度運用では、障害のある方のサポートに繋がっていない可能性も高いのではないかでしょう。

実は先の国政選挙の際に、とある有権者の方から、「足の具合が悪くて投票所に行けそうにない」という相談がありました。

弱者支援は、元気な方にとっても有益です。それは「住み続けられるまち」の証であるからです。

つばさ通信

第28号

は）必要性があるものと捉えており、来年度の実施に向け調整をしております」との答弁をいただきました。

先行して減免対象の拡大をしている土浦市などの事例を参考にしていただきたいと思います。

しかし、介護認定4以下の方でも投票困難な方は大勢いらっしゃると思われます。国の制度改正が必要な内容ですが、いま自治体でできることは、外出困難者のサポートを強化することです。

投票は制度上認められていません。

現在かすみがうら市では、障害のある方の使用する軽自動車税の減免について、所有者または運転者が障害のある方本人でなければ対象になってしまいます。

「住み続けられるまち」の証（あかし）であると思うのです。

身に障害がある方の場合は、私たちの基本的人権は憲法で保障されていますが、それが実現されていれば、自治体によっても

また、その障害ゆえに、ご自身で運転できない可能性も高いと思われます。こうしたことを考えれば、現状の制度運用では、障害のある方のサポートに繋がっていない可能性も高いのではないかでしょうか。

実は先の国政選挙の際に、とある有権者の方から、「足の具合が悪くて投票所に行けそうにない」という相談がありました。

弱者支援は、元気な方にとっても有益です。それは「住み続けられるまち」の証であるからです。

ひとに優しいまちづくりを目指しましょう。

現在の公職選挙法では、障害者手帳をお持ちの方か、要介護5に認定された方でないと郵便投票は認められていません。ご相談の方はこの対象に入つておらず、残念ながら郵便

投票所のバリアフリー化

投票所のバリアフリー化、職員による車椅子サポート、出入口での臨時投票所設置など、できることはたくさんあります。移動巡回型

投票所のバリアフリー化、職員による車椅子サポート、出入口での臨時投票所設置など、できることはたくさんあります。移動巡回型



手すりやスロープがない投票所(西成井)

乗合タクシー値下げ・拡充

常磐線横断利用、協同病院乗り入れで利便性向上

旧小学校区ごとに交流拠点・避難所整備

歩いて行ける拠点整備で、安心して暮らせるまちへ

生活道路積極整備

危ない・狭い・不便解消、農道拡幅で安全・便利に

30人学級でこまやか教育

18歳以下医療費無料、通学自転車助成で安心子育て

複合交流拠点は市街地の中央に

愛される交流拠点へ、市民と一から計画練り直し

土浦市との合併協議スタート!

めざせ活力ある18万人都市、住民投票で最終決定

市民の力で実現しよう！

かすみがうら市の
新しい未来へ



みやじま謙
公式HP



みやじま謙
公式SNS



TOPICS

戸崎原「魔のカーブ」改良工事進行中

つばさ通信19号でもお伝えした、重大な死亡事故が何度も発生している国道354号線の戸崎原カーブ。新聞でも「5年間で5人死亡の魔のカーブ」と報道された危険地点ですが、今年3月の完了を目指し、改良

市と住民に隔たり
前号でお伝えした旧志士庫小学校地区の公共施設存廃問題。志士庫第一公民館が閉鎖され、さらに小学校施設も閉鎖されるに至り、地域コミュニティの拠点と避難所がなくなりしまった現実に直面した住民の皆さん、旧小学校施設の存続を訴える運動を起こしたという内容です。

市では、「旧志士庫小学校をコミュニティ施設として活用する考えはなく、避難所はウェルネスープラザ（旧宍倉小学校）

の使用を想定している」として、地域住民の思いとの隔たりは大きままです。

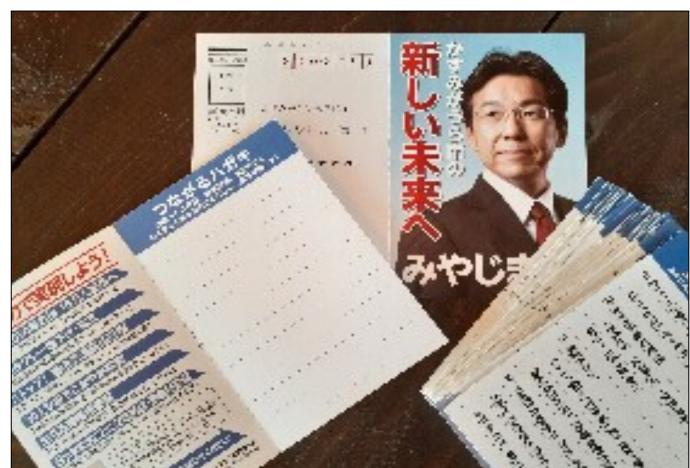
こうした問題は志士庫地区に限った話ではなく、霞ヶ浦地区の他の小学校区や、今年3月に小学校が統合される千代田地区でも、同様の課題として、私たちの目の前に立ちはだかっています。

建物には寿命があり、いつかは形を変えざるを得ない運命です。しかし地域コミュニティは、人が住んでいる限り永遠であることを忘れてはなりません。

行政効率ばかりではなく、市民生活第一の原点に立ち返り、地域コミュニティの維持発展をテーマに取り組んでいきたいものです。

ご意見ください！ 「つながるハガキ」

今、市民の皆様にお配りしているみやじま謙の「つながるハガキ」。市政への要望や地域が抱える問題など、どんどんご意見が寄せられています。皆さんも、お気軽にご利用くださいね。政策作りの参考にさせていただきます。



新年、明けましておめでとうございます。
今私たちは、VOCAL（ブーカ）時代にいると言えています。英語の変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の頭文字をとつて、そう表現するそうです。「先

行き不透明で将来の予測が困難な状態の時代性」を表していいるのです。変異を繰り返すコロナ禍は、その典型的でしよう。

これまでの常識やスキルでは対応できない難しい時代、地方自治体はどうあるべきでしようか。

大切なポイントは「質」です。行政の質、教育の質、子育ての質、地域経済の質・・・そして民主主義の質。規模や形ではなく、その中身が問われています。無駄な事業を見直し、市民生活の質が向上する施策に力を入れる、そんな行政運営に舵を切る時が来ています。

明日への想い



改良工事が進む戸崎原カーブ

かすみがうら市と土浦市
力を合わせて未来を拓こう！



めざせ
2030年合併！